

令和3年度学位記授与式式辞

令和4年3月19日（土）

アイザック小杉文化ホール ラポール

本日、新田富山県知事をはじめ、多くのご来賓の皆様をお迎えし、令和3年度富山県立大学学位記授与式を挙げることは、誠に喜びに堪えません。これも、ご来賓の皆様をはじめ、これまで本学の教育と研究を支えてくださった多くの関係の皆様のご支援、ご尽力の賜であり、教職員を代表し、心から御礼を申し上げます。

そして、今日の佳き日を迎えられた工学部と大学院工学研究科、417名の卒業生、修了生の皆さん、今日の卒業、修了を心よりお慶び申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染が確認されて以来、感染の影響が続いている中で、皆さんに数々の不便をお願いしましたが、状況を踏まえた皆さんの対応に改めて感謝を申し上げます。

さて、学位記授与式に先立って、私は「独創性で社会をより幸せに」という言葉を卒業アルバムに記しました。この機会に、この言葉に込めた私の考えを、卒業、修了する皆さんに、私の肌で感じてきた工学の歴史感覚に基づいて、詳しくお話ししたいと思います。

日本の近代の工学は、明治時代にお雇い外国人と呼ばれる先生方によってもたらされました。当時の外国人の先生の銅像が残っていて、その様子をうかがい知ることができます。当時の学生数は少数でしたが、先進国の技術を取り入れ展開することに学生は「天命」を感じていたと私は想像します。天命とは、文字通りに読むと天からの命令ですが、論語の中には、「五十にして天命を知る」と孔子の言葉として天命が書かれています。現代風な天命の意味は、家族や社会から皆さんへの期待だと私は思っています。明治時代の大学生がお雇い外国人の先生から学び始めて以後、工学は、先進国の技術をキャッチアップすることに励むこととなります。さらに、私の親世代の勤勉さにより、日本の経済や工学は飛躍し、1900年代後半には日米貿易摩擦が起こりました。1979年には「ジャパン アズ ナンバーワン：アメリカへの教訓」という英語の本が日本語訳として出版され、1990年には「Made in America—アメリカ再生のための米日欧産業比較」という英語の本が日本語に翻訳されて出版されています。

私は、2002年に、ドイツで開催されたハノーバーメッセに招待されました。そこでのイベントの一つに、ときの首相、シュレーダー氏のスピーチがあったのですが、その場にいた人から、従来の首相のスピーチには日本という言葉がよく出ていたけど、最近では中国という単語に代わったよ、と聞かされ面くらいました。2003年には、私も関係した「動け！日本 イノベーションで変わる生活・産業・地域」という日本語の本が出版されました。当時、私は、日本はまだまだ元気で、その状態は永遠に続くと思楽観的でした。その後もしばらく日本は元気だったように記憶していますが、日本のGDPが足踏みをして、2010年に3位になった前後で、台湾、韓国、中国が元気になり、半導体やスマートフォ

ンや薄型テレビなどの例を挙げるまでもなく、ずいぶん日本の経済や工業・工学の元気が相対的に低下したと感じています。そのときの議論として、日本はキャッチアップが得意だけど、先頭に立つと次に何をすればよいかビジョンが描けない。先頭に立つ勇気がない。工業製品の質はいいのだけどね、と言われ、現在に続いています。

私は、こんなときだからこそ、皆さんに、内向きにならずに、世界で活躍できる強みを今後も身に着け続け、価値と独創性のある仕事をし、社会を変革する競争力につないで欲しいと考えています。例えば、皆さんが紙の上に書いた「県立大学」という文字は、この世に2つとないオリジナルなものですが、ほとんどの場合、価値がありません。しかし、特別な人が書いた文字には、価値を認める人が多いでしょう。これと同じように、独創性のみの仕事でよければ、その仕事の達成のハードルは低いでしょうが、さらに、その仕事が多くの人々の幸せにつながる場合、皆に喜ばれる価値のある仕事になるはずで、私は皆さんが価値と独創性をもつ仕事をし、それによって皆さんの家族や社会がより幸せになることを期待しています。

世界の、国際分業は否応なく、さらに進んでいくものと考えています。富山には、日本・世界のシェアトップ企業が何10社もあります。日本全体では、この数は単純に100倍だと考えても、多くの企業があるものと思います。皆さんの就職する企業や組織、進学する大学院には強みがあるはずで、内向きに閉じこもるのではなく、その強みを世界に展開し、自分たちの得意なところを活かし、いろいろな分野の人と協働し、社会変革であるイノベーションをもたらして社会をより幸せにしてください。

卒業後、落ち込みそうになった時には、たとえば、アンパンマンの歌を思い出してください。「もし自信をなくして くじけそうになったら いいことだけ いいことだけ 思いだせ」とあります。キロロも「あなたの笑顔に何度助けられたらろう」と歌ったように、もしへこみそうになったら大学時代を思い出したり、その時の友達に会って笑顔をもらったり、仕事で迷子になりそうになったら、県立大学の教員に会ってみると解決するはずで、富山県立大学は皆さんが卒業後も頼ってもらえる大学であり、新しい技術を紹介するためのリカレント教育を提供する大学でもあります。

皆さんは、地域社会や、日本や、世界を変革する力を持っています。天命を知る力、天命を知った時に応えられる力を身につけるよう、これからも研鑽を続けてください。皆さんの価値と独創性のある活躍を富山県立大学の教職員はみな信じています。皆さんとご家族の幸せを祈りながら、私のお祝いの言葉を結びます。

卒業、修了する皆さん、本日は本当におめでとうございます。

令和4年3月19日

富山県立大学学長 下山勲